

昭和42年度日本気象学会総会ならびに春季大会

(プログラムその他詳細は本文109~134頁参照)

1. 期 日： 5月16日(火), 17日(水), 18日(木)
2. 場 所： 東北大学松下記念館
3. 行 事： 下記のとおり

行	事	日	時
大会(研究発表)	(両会場)	5月16日(火)	9:00~12:00
"/	"/	"/	13:00~15:50
"/	"/	"/	16:00~18:30
全 国 理 事 会			
大会(研究発表)	(両会場)	5月17日(水)	9:00~12:00
総会・学会賞藤原賞・受賞記念講演	(第2会場)	"/	13:00~15:20
シンポジウム(熱帯気象)	"/	"/	15:30~18:00
懇 親 会	"/	"/	18:30~
大会(研究発表)	(両会場)	5月18日(木)	9:00~12:00
"/	"/	"/	13:00~15:50
"/	"/	"/	16:00~18:30

大会委員長 山 本 義 一

(注 意)

1. 総会へ出席できない会員は、本誌挿入の委任状を学会事務局宛にお送り下さい。
2. 宿舍申込は、本誌134頁参照の上、なるべく早く済ませて下さい。
3. 今大会では、講演申込数が非常に多かったため、研究発表の終了時刻を18時30分まで延長しましたが、それでも1題あたりの講演時間は極めて限られています。短時間に有効な討論ができるよう、発表者は事前に発表内容を十分に整理して下さい。1題の研究発表は12分で打ち切って残りの時間を討論にあてることにしたいのでご協力下さい。

月例会の申し込みについて

本年度の気象学会の月例会のスケジュールを決めるため、単独または数グループ合同で月例会の開催を希望する研究グループは、下記のとおり講演企画委員会にご連絡下さい。研究グループは、これまでに月例会を行ってきた既存のグループ以外の新しいグループでも結構です。なお、月例会の内容は、研究発表会・シンポジウム・総合報告など、いずれでも差支えありませんが、研究発表会は、春秋の大会の間に行なう2回の講演会を拡充してゆく方針ですから、なるべくその機会を利用されるよう希望します。

なお、天気誌上で研究発表の募集を要する場合は3か月前の10日(10月30日に月例会を開く場合は7月10日)までに、主題、会期、会場、申込先を明記して講演企画委員会に提出して下さい。その際の申込締切期日は月例会開催期日の2か月前の月末(上例では8月末日)になります。また研究発表を募集しない場合でも、月例会の前月10日までにプログラムの概要をまとめて講演企画委員会へ提出して下さい。

以上の手続を怠った場合は天気での告示はできません。

記

1. 連絡先：東京都千代田区大手町1-7 気象庁内
日本気象学会気付 吉野正敏
2. 締切期日：4月末日
3. 連絡の方法：文書に下記の事項を明記のこと、
 1. 研究グループの名称
 2. 責任者名とその連絡先・電話番号
 3. 月例会の計画の概要：開催を予定する時期、開催地、月例会の内容、出席を見込まれる研究者の主な分野とその人数(予想)
 4. 研究発表会を単独のグループで開く場合はその具体的な理由
 5. 講演企画委員会に対する要望事項
(講演企画委員会)

月例会のお知らせ

山の気象シンポジウム

会 期：6月10日(土)13時より
会 場：気象庁第1会議室
講演申込先：気象庁高層課中村繁
締 切 月 日：5月15日

本号は春季大会の特集号として編集しました。4篇の解説はすべて、シンポジウムに関連したものばかりです。(天気編集委員会)